

ICTで 授業 をDX!

学年 小学校4年 教科 国語 など

コラボノートで協働作業、自分だけの例文づくり!

使用するアプリケーション等
コラボノート

単元・題材 慣用句

本時の目標 長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使うことができる。(知識及び技能)

ICTを活用することで できること

- ・コラボノートの「ノート機能」を活用することで、自分の欲しい情報を好きなタイミングで得ることができる。また、協働で作業を行うため、困ったことがあったら互いに聞き合うことができる。
- ・コラボノートの「マイノート機能」を使うことで、本時の目標に対する一人一人の到達度を確認することができる。また、ノートを回収せずとも、デジタルデータで確認することができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ①教師が黒板に書いた慣用句を用いた例文から意味を予想する。
- ②予想したことを発表し、正しい意味を知る。

2 展開

めあて 慣用句の意味を調べ、自分で例文を作ろう。

- ①慣用句とはどのようなものか知る。
- ②調べ方を確認し、国語辞典を使って意味を調べ、ノートに書く。
- ③調べた慣用句の意味を全体で確認する。
- ④慣用句を使って、ノートに例文を作る。
- ⑤作った例文を互いに見せ合い、使い方に間違いがないか確認する。

3 まとめ

- ①慣用句の中には、使い方によっては相手を嫌な気持ちにさせるものがあることを知る。
- ②本時の振り返りを行う。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ①教師が黒板に慣用句を用いた例文を書き、意味を予想する。
- ②予想したことを発表し、正しい意味を知る。

2 展開

めあて 慣用句の意味を調べ、自分で例文を作ろう。

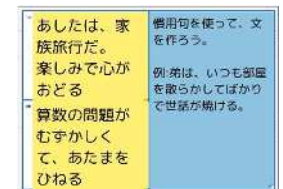
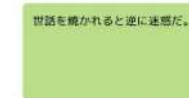
- ①慣用句とはどのようなものか知る。
- ②**コラボノートを開き、調べる慣用句を班の中で分担する。**
- ③調べ方を確認し、国語辞典を使って意味を調べる。
 - 調べていく中で、分からないことがあったら班の中で相談してよいことを伝える。
 - 国語辞典では意味が載っていない場合は、**ブラウザアプリを使って調べてよいことを伝える。**
- ④調べた慣用句の意味を全体で確認する。
 - 各グループで作ったノートに書かれている意味との差異がないか確認させる。
- ⑤慣用句を使って、**ノートに例文を作る。**
 - 例文を書くときは、**班で作り上げたノートをスクリーンショットし、2画面表示をしながらマイノートの例文を作る**よう伝える。
- ⑥作った例文を互いに見せ合う。
 - 慣用句の使い方に間違いがないか、互いに確認させる。



↑ ③の実際の写真
調べながら、班の仲間がやっていることが分かる。

3 まとめ

- ①慣用句の中には、使い方によっては相手を嫌な気持ちにさせるものがあることを知る。
- ②本時の振り返りを行う。
 - 振り返りは、マイノートの中に書く。**



↑ ④の実際の写真
例文を載せることで、児童も作りやすくなる。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・班で分担をして調べていくため、調べる時間が減り、児童の考える時間を増やすことが出来た。
- ・協働学習ノートを活用することで、困ってしまった時に互いに助け合いながら学習に取り組むことが出来た。
- ・評価を行う際にも、それぞれの達成度が把握しやすかった。
- ・協働学習の場面と、個人学習の場面を使い分けないと、友達の考えばかり頼り過ぎてしまい、自分で考えることをやめてしまう場合もあると感じた。状況に応じて、個別に声をかけていくことが必要である。